

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		障害者親の会助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	福祉課	担当者名	櫛野 努
	基本事業	51	障がい者への住宅福祉サービスの充実と社会参加の推進			所属班	障がい福祉班	(内線)	2133
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市補助金交付規則及び合志市健康福祉補助金等交付要綱	
		1	3	1	3	10515		成果優先度評価結果	12
								コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 H5 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市障害者親の会「虹の会」が行う、社会啓発事業等の活動事業に対し補助金を支給し、市民の障がい者に対する理解を深めるとともに、会員相互の親睦と認識を高めるための事業
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成3年に合志町に発達障害者親の会として発足、その後活動補助金を交付するようになった
【業務の流れ】	合志市補助金交付規則および合志市健康福祉補助金等交付要綱に基づき、当該団体申請のもと補助金の交付を行う。
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	補助金は「レインボーシアター」上映会等の活動費に使われており、関係団体や住民から好評である
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市障害者親の会「虹の会」が市民の障がい者に対する理解を深めるために行う、社会啓発事業等の活動に対し補助金を交付した。	合志市障害者親の会「虹の会」が市民の障がい者に対する理解を深めるために行う、社会啓発事業等の活動に対し補助金を交付する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 助成額	円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・住民	⇒ ア 合志市人口 人
・当該団体	⇒ イ 会員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
啓発事業を通じて、障がい者に対する理解を深める	⇒ ア 活動回数 回
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
障がい者に対する理解の促進や会員相互の親睦が進んでいるかどうかを合志市障害者親の会「虹の会」の活動回数で把握する	

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	円	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
	イ										
⑤ 対象指標	ア	人	54,047	54,407	55,000	54,856	55,200	55,600	56,000		
	イ	人	27	30	30	30	30	30	30	30	
⑥ 成果指標	ア	回	20	37	37	40	40	40	40	40	
	イ										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	20	20	20	20	20	20	20	20
	(A) 事業費計		千円	20	20	20	20	20	20	20	
	(A)のうち指定経費		千円								
	(A)のうち時間外、特勤		千円								
	人件費	正規職員従事人数		人	4	4	4	4	4	4	4
延べ業務時間		時間	100	100	100	100	100	100	100		
(B)人件費計		千円	397	400	398	398	398	398	398		
トータルコスト(A)+(B)		千円	417	420	418	418	418	418	418		

総トータルコスト	
全体計画	
～	年度
	0
	0
	0

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	障害者親の会助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 当該団体活動は参加者の増加のため、現在も地域住民への啓発活動等を積極的に行っている。	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 同じ補助金事業として身体障害者福祉協議会があるが、活動対象及び活動内容に差異があり統合できない。	
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金額は最小限であり、これ以上の削減は活動に支障をきたす。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務のみで業務時間は最小限であり、これ以上の削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 当該団体活動は、会員のみならず、地域住民への啓発活動等を行っている
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

合志市障害者親の会「虹の会」は、障がい者に対する理解の促進や会員相互の親睦を図るため成年後見人養成講座の開催等積極的に活動しており、活動回数も増えている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						